

施策番号	17
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	4	生活基盤
主要施策名	17	自然環境
5年後のまちの姿	<p>○市民の多くが自然と共生し、自然の恩恵を受けて生活しています。</p> <p>○美しく豊かな山・川・海が多くの人をひきつけています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、まちの貴重な財産である豊かな自然を次世代に引き継ぐために、自然環境の保全と再生を進めるとともに、市民が自然と触れ合う機会や自然公園等の維持管理に参加する機会を提供します。また、市外の人からも胎内市の魅力を感じてもらえるようPRに努めます。</p> <p>市民等は、身近な自然の魅力や自然保護の重要性を認識し、自然との触れ合いや維持管理を行う機会には積極的に参加するよう努めます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①豊かな自然環境の保全と再生</p> <p>②自然と共生するまちづくり</p> <p>③市民・事業者・行政の協働による環境保全</p>	
施策担当課・係	農林水産課 農林整備係・農村交流係	
施策関係課・係	地域整備課 管理係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	72,147				
事務事業数	8				
うち、事務事業評価対象	8				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
森林病虫害被害本数	本	650	1,489					300
植栽および森林の保育活動面積〔累計〕	ha	22.15	22.40					25.0
成果指標による現状分析	<p>守るべき森林（高度公益機能森林及び地区保全森林）のうち、薬剤散布を実施していない松林の被害本数が増加傾向にある。植栽活動については、集落、団体、企業の協力により順調に推移している。</p>							

3 施策の進捗状況

達成度	△やや遅れている
評価の理由	被害木の樹齢が若い段階で防除等できているため、量（材積）は横ばい状態となっているが、松林の被害本数は増加傾向にあるため、やや遅れていると評価した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 豊かな自然環境の保全と再生

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域、保安林等の自然環境の適切な管理を推進し、貴重な動植物とその生息・生育環境の保全等を図ります。 ・白砂青松の景観の保全と再生に向けて、県や市民団体、企業と連携して防除活動や植林、下草刈り等、海岸部の適切な維持管理に取り組みます。 ・森林環境譲与税を用いて、よりよい森林環境を実現していきます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・健全な森林に導くため、県有林・分収造林などの間伐を実施 ・胎内平尼池などのビオトープの保全を実施 ・新潟県等に治山林道事業の推進と林業振興に関する要望書を提出 ・松くい虫被害の根絶を目指すため、松くい虫防除を継続して実施 ・防風林としての役割を再生させるため、集落、団体、企業と連携して保安林内の植栽・保育作業を実施 ・森林整備推進のため、森林経営計画の作成支援及び認定 <p>企業の森活動実績：JX石油開発株式会社：H23～（中村浜・村松浜）水澤化学工業株式会社・山栄建設株式会社：H24～（中村浜・笹口浜）株式会社日立産機システム・荒井浜：H29～（荒井浜）株式会社第四北越銀行：H29～（荒井浜）四季を愛する会：H25～R2（笹口浜・中村浜）中条葉たばこ生産組合青年部：H24～29（中村浜・笹口浜）新潟トヨペット株式会社：H21～30（胎内平）株式会社クラレ：H22～（胎内平）きのと山桜復活の会：H30～R5予定（乙）</p>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・森林の成長には膨大な時間がかかるので、引き続き適切な管理に努める。 ・松林の被害本数は増加傾向にあるため、有人又は無人ヘリコプターによる航空散布の区域拡大を検討するとともに、引き続き松くい虫防除を実施する。 ・集落、団体、企業と連携し、保安林内の植栽・保育作業等を実施する。 ・森林環境譲与税を用いて、効果的な森林保全をめざす。

② 自然と共生するまちづくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県、その他の関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域等に自然学習や観光にも資する散策路や観察小屋、ベンチ、トイレ等の環境整備に取り組みます。 ・自然体験施設や環境学習施設、周辺の公園の維持管理と魅力の向上を図ります。 ・河川整備の実施に併せて水辺のジョギングコースや憩いの親水空間等の自然と触れ合う場の設置を検討します。 ・関係機関と連携して山林や河川、海岸の適切な維持管理や保全施設等の整備を実施し、自然の荒廃を要因とする災害時の被害拡大を抑制します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の森研修館運営 ・胎内平周辺の維持管理 ・夏井河川公園の維持管理 ・荒井浜森林公園、長池憩いの森公園、生活環境保全林の維持管理 ・村松浜夕日の森公園、笹口浜臨海休養広場の維持管理 ・公園設置から年数が経過し施設も老朽化している。毎年度、予算の範囲内で修繕しているが、追いついていない。該当の公園は河川公園であり、今後より一層、県と協力し維持管理に努める。 ・河川環境整備の一環として、県から堤防等の除草作業を受託 ・白砂青松海岸促進期成同盟会を通して、国・県に海岸浸食の防止対策を要望 ・災害時の被害拡大抑制のため、県に河川の維持管理を要望 ・河川除草委託料単価の見直しを行った。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・各集落、組合の受託者が高齢化に伴い減少傾向となっている。しかし、要望は多く除草作業延長も伸びていることから、地域の河川環境整備保全のため、今後も継続して各集落等に協力要請を行っていく。 ・海岸の浸食が急速に進んでいる箇所も多く見受けられる。今後も、白砂青松海岸促進期成同盟会を通し、国・県に改善要望を行っていく。 ・毎年、県に掘削及び伐木等の要望を行っているが、進捗状況はあまり進んでいない。粘り強く要望を継続する。 ・長池憩いの森公園整備のため、公園整備・草刈り・池整備等を実施する。 ・長池憩いの森公園に通年を通して眺望を楽しめる展望施設の整備を進める。

③ 市民・事業者・行政の協働による環境保全

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市民やボランティア団体、企業と連携した緑化や自然保護活動に取り組みます。 ・市民による公園の環境整備や魅力づくり、環境教育・環境学習での活用を積極的に支援します。 ・豊かな自然を題材にした環境教育・環境学習を通じて、環境問題に関する情報発信と意識の啓発を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体による植栽活動を実施 ・企業による植栽及び保育活動を実施 ・集落などによる森林・山村多面的活動を実施 ・体験学習の場所の提供 ・胎内平を星まつり会場として使用
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・植栽が進み植栽場所が減少する中で、関係機関と連携し最適な活動場所を提供する。 ・活動を終了する集落もあるが、市報などで新規の活動集落を募集する。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	松くい虫の被害については、毎年薬剤散布や伐倒駆除くん蒸等により対策を行っているが、被害を受けた本数が平成30年度以降年々増加しており、令和4年度においては、平成30年度の2.8倍まで増加しているため、補助事業対象区域である守るべき森林（高度公益機能森林及び地区保全林）の対策面積の拡大を県へ要望していくほか、守るべき森林以外の周辺松林の緊急的な被害への対策を実施する。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4 事業費	R5		達成度	今後の 方向性	担当課	
			うち 一般財源	当初予算額				
410110	森林保全管理事業	2,912	1,464	2,992	1,538	◎	③	農林水産課
410111	森林病虫害等防除事業	22,103	6,851	25,880	11,655	×	①	農林水産課
410112	海岸松原再生事業	12,014	12,004	13,426	13,351	◎	③	農林水産課
410210	長池憩いの森公園管理事業	4,762	4,762	9,367	9,366	△	①	農林水産課
410212	青少年の森研修館運営事業	2,475	1,181	2,600	1,279	◎	③	農林水産課
410213	笹口浜臨海休養広場管理運営事業	862	862	873	873	◎	③	農林水産課
410220	河川総務事業	26,279	4,443	26,790	4,878	◎	③	地域整備課
410310	造林事業	1,489	0	3,330	3,108	○	①	農林水産課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	410110		担当課	農林水産課		担当係	農林整備係		担当者	
事務事業名	森林保全管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項目	02	林業費
				小	10	森林保全管理事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け			任意			関連例規		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	散策などのレクリエーション利用を通じて、市民の身近な遊び場、憩いの場となっている荒井浜森林公園、村松浜夕日の森公園の管理と環境美化に努める。
主な実施内容	・荒井浜森林公園及び村松浜夕日の森公園の維持管理
実施方法	委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,912	2,992			
国・県支出金	1,448	1,454			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	1,464	1,538	0	0	0
人件費（千円）	1,724	0	0	0	0
正(h) ※事業費	300	0	0	0	0
※事業費					
※事業費					
※事業費					
総事業費+人件費	4,636	2,992	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	委託料 1,812千円 賃借料 1,100千円				
算出方法	(総事業費+人件費) / 利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2,318円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園		
	目標	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha		
	実績	①22.4ha ②0.59ha				
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数		
	目標	3,300人	3,300人	3,300人		
	実績	9,320人				
	目標比	282.4%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 算出指標、成果指標ともに目標達成できているため達成と評価した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

維持管理のため荒井浜草刈組合に草刈りを委託しているが、それ以外に景観を損ねる松くい虫被害による枯損木等の処理を臨時職員によって実施し、景観の維持・管理をしている。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	維持管理のための除草作業などを地元住民・団体等に委託している。

7 事業の課題

施設の老朽化が目立ってきたため、今後は維持費も必要になってくる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・各公園とも東屋等施設の老朽化が著しいことから修繕方法等を検討し、安心して利用していただくことができる維持整備等を行う。 ・公園の維持管理については、利用者が多い遊歩道や交通の安全面を考慮し国道脇などの場所を中心とした管理を行う。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	◎	④	②	①
	維持	◎	⑤	③	◎
	縮小	◎	⑥	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
	削減	◎	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎	◎
	拡大	◎	◎	◎	◎
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	410111		担当課	農林水産課		担当係	農林整備係		担当者	
事務事業名	森林病虫害等防除事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項	02	林業費
				小	11	森林病虫害等防除事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令	森林病虫害等防除法		
	法令による義務付け			任意			関連法規		関連計画	胎内市森林整備計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	松くい虫被害の終息化を図るため、航空散布や地上散布等の予防散布と伐倒駆除等の被害木の除去を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 被害予防のための薬剤散布 被害木の伐倒駆除・くん蒸 被害木把握のための調査 防除を実施する団体・個人への補助金交付
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	22,103	25,880			
国・県支出金	12,355	14,225			
地方債	0	0			
その他	2,897	0			
一般財源	6,851	11,655	0	0	0
人件費（千円）	3,389	0	0	0	0
正(h) ※事業費	1,770	0	0	0	0
※事業費					
※事業費					
※事業費					
総事業費＋人件費	25,492	25,880	0	0	0
財源「その他」内訳	森林環境譲与税 2,897千円				
事業費の主な支出内容	防除事業委託料（補助） 19,302千円 ゴルフ場補助金 1,649千円 防除事業委託料（単独） 955千円				
単位コスト	算出方法 薬剤散布による防除面積1ha当たりのコスト 薬剤散布防除委託料÷薬剤散布面積				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	82,664円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	薬剤散布面積	薬剤散布面積	薬剤散布面積	
	目標	140ha	140ha	140ha	
	実績	137.5ha			
成果指標	名称	被害本数	被害本数	被害本数	
	目標	200本	200本	200本	
	実績	1,489本			
	目標比	△544.5%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 薬剤散布未実施地区の被害本数が増加しているため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ヘリコプターによる航空散布 80ha 無人ヘリコプターによる航空散布 57.5ha 被害木の伐倒、駆除、くん蒸 1,388本
--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	専門的な技術が必要なため

7 事業の課題

住宅や農地に隣接して薬剤散布ができないエリアで被害本数が増加傾向にある。また、海岸線に植栽した松も大きくなってきており、今後松くい虫予防の薬剤散布が必要になるため、どのタイミングで散布するか検討する必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①				
<ul style="list-style-type: none"> 以前に松くい虫の被害に遭い伐倒駆除した後、新たに植樹した松についても被害が見られることから、散布面積を追加するとともに国県の補助金の要望を行う。 守るべき森林以外の住宅や農地に隣接している民地等における松くい虫の被害についても、被害木の調査を行い防除や伐倒等について支援などを検討し、被害の拡大防止に努める。 					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	410210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者			
事務事業名	長池憩いの森公園管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項目	01	農業費
				小	10	長池憩いの森公園管理事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務			自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け			任意		関連例規	胎内市長池憩いの森公園条例胎内市長池農産物直売所条例	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	豊かな森林資源に囲まれた長池憩いの森公園の管理を行い、市民のレクリエーション活用ややすらぎの場として提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 長池憩いの森公園清掃等業務委託 長池憩いの森公園維持管理 公園用地借地
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	4,762	9,367			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	1			
一般財源	4,762	9,366	0	0	0
人件費（千円）	450	0	0	0	0
正(h) ※事業費	240	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	5,212	9,367	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	長池周辺地区借地料 2,496千円 長池公園清掃等管理委託料 1,496千円 光熱水費 554千円				
単位コスト	算出方法 総事業費＋人件費／利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	95円/人				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数		
	目標	317日	317日	317日		
	実績	289日				
成果指標	名称	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数	年間公園施設利用者数		
	目標	80,000人	80,000人	80,000人		
	実績	54,894人				
	目標比	69%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	チューリップフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症が比較的落ち着きを見せ期間中の入込が前年度より増加したが、成果指標の目標値が下回ったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

農産物直売所の運営管理について受託者と協議し更新手続きを行った。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	長池公園清掃等管理を長池農産物直売所の管理委託者へ委託している。

7 事業の課題

農産物直売所については、チューリップフェスティバル開催期間中には県内外の多くの方が来場し賑わっているが、それ以外については来場者が少なくなるため年間通しての集客につながる運営の検討が必要。長池憩いの森公園内のトイレについて、地盤が軟弱なため建物が傾いてきている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①				
公園内に展望台の建設を行いチューリップフェスティバル期間以外でも通年をとおり眺望が楽しめ、市民の憩いの場としての活用と観光誘客の施設として整備し公園全体の利用者増に努める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	410212		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	青少年の森研修館運営事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大 41	自然環境	予算科目	款 06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中 02	自然と共生するまちづくり		項 02	林業費
				小 12	青少年の森研修館運営事業		目 01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	次代を担う青少年が自然の中で野外活動に親しみ、心身の鍛錬と森林愛護思想の普及啓発として研修の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 芝刈、草刈、間伐の実施 トイレ清掃 来場者の案内
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,475	2,600			
国・県支出金	1,294	1,315			
地方債	0	0			
その他	0	6			
一般財源	1,181	1,279	0	0	0
人件費（千円）	1,036	0	0	0	0
正(h) ※事業費	110	0	0	0	0
※委任(h) ※事業費	1,494	0	0	0	0
総事業費+人件費	3,511	2,600	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	会計年度任用職員給料 602千円 消耗品費 574千円 光熱水費 341千円 修繕費 300千円 使用料及び賃借料 193千円				
単位コスト	利用者1人当たりコスト 総事業費+人件費/年間周辺施設利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	81円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数		
	目標	157日	157日	157日		
	実績	163日				
成果指標	名称	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数		
	目標	50,000人	50,000人	50,000人		
	実績	57,700人				
	目標比	115%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	成果指標については豪雨災害やコロナ化の影響によりイベントが中止となる中、目標を達成したため、達成と評価した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

(該当なし)

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	県からの委託事業のため

7 事業の課題

施設の老朽化が著しく今後修繕が必要になってくる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
県から委託を受け管理を行っている施設であり、今後施設をどのようにしていくのか県と協議していく必要がある。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①	
	拡充	⑤	③		
	維持	⑥			
	縮小	⑦			
	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	410213		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者			
事務事業名	笹口浜臨海休養広場管理運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項	03	水産業費
				小	13	笹口浜臨海休養広場管理運営事業		目	01	水産業振興費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令			
	法令による義務付け			任意			関連例規	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	笹口浜地内の沿岸に設置している臨海休養広場を管理し、白砂青松の観察や地元漁師、観光客等の休養の場として提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ清掃 ・広場の清掃、見回り ・フェンス修繕 ・護岸修繕
実施方法	市が直接実施＋委託＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	862	873			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	862	873	0	0	0
人件費（千円）	618	0	0	0	0
正(h) ※事業費	330	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	1,480	873	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	委託料 459千円 光熱水費 113千円 負担金 150千円				
単位コスト	利用者1人あたり運営コスト (総事業費＋人件費)/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1,495円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	清掃回数	清掃回数	清掃回数	
	目標	84回	84回	84回	
	実績	86回			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	990人	990人	990人	
	実績	9,320人			
	目標比	941.4%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 算出指標、成果指標ともに目標達成できているため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] トイレ修繕工事（屋根）の実施

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	笹口浜漁業者へ広場の管理業務、トイレ清掃を委託している。

7 事業の課題

高波により護岸崩落が進んでおり、公園内まで被害が及ぶ可能性があるため、消波ブロックの上積みなどの対策が必要と思われる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
・トイレ及び広場の管理は、地元漁業者に委託を行っており、苦情もなく一定数の利用がある。 ・広場護岸部やフェンスについては、計画的に取替が必要である。 ・保安林内施設であるため、県と連携しつつ安全面に考慮し、引き続き維持管理を行っていく。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	410220		担当課	地域整備課	担当係	管理係	担当者		
事務事業名	河川総務事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	款	08	土木費
主要施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり	項目	03	河川費
				小	20	河川総務事業	目	01	河川総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	河川法	関連計画	尾川水系尾川園城河川整備計画、船内川水系河川整備計画、尾川水系河川整備計画	
	法令による義務付け		義務		関連例規				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	新潟県からの河川環境整備を受託し、堤防等の除草作業を行うほか、河道掘削や伐採等を行い流下能力を高め災害防止を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●堤防等の除草作業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 参加団体等は下記のとおり <ul style="list-style-type: none"> 自治会等 10団体 農家組合 10団体 業者 11業者 合計 31 河川延べ延長 50,940m 面積 357,150㎡ ●河川改修工事（整備、浚渫、残土処理） <ul style="list-style-type: none"> 船戸、須巻地内 施工延長 52,78m
実施方法	委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	26,279	26,790			
国・県支出金	12,036	11,911			
地方債	9,800	10,000			
その他	0	1			
一般財源	4,443	4,878	0	0	0
人件費（千円）	882	0	0	0	0
正(h) ※事業費	471	0	0	0	0
委任(他) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	27,161	26,790	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	委託料 12,705千円 工事請負費 9,944千円 負担金補助及び交付金 3,459千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	受託面積	受託面積	受託面積		
	目標	357,150㎡	357,150㎡	357,150㎡		
	実績	357,150㎡				
成果指標	名称	受託実施率	受託実施率	受託実施率		
	目標	100%	100%	100%		
	実績	100%				
	目標比	100%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	除草作業が年1回のため、雑草対策としては十分と見えない。居住地域周辺は、虫などの発生を抑える必要があるため、複数回実施を望む意見がある。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 地域からの要望による除草箇所を拡大。 県と協議を重ね引き続き委託単価の引き上げを要望している。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	(実施) 10自治会・集落と連携して草刈りを実施。

7 事業の課題

市からの作業受託者の高齢化に伴い、地元での受託が困難となってきた地域がある。その代替えとして事業者確保も課題となってきた。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
県も財政難ではあるが、害虫発生対策のために引き続き年2回の除草を県には要望していく。地域住民の協力が欠かせないため、地域への協力要請を積極的に行う。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性		拡充	④	②	①
		維持	⑤	③	④
成果の方向性	縮小	⑥	⑦	⑧	⑨
	休廃止	⑦	⑧	⑨	⑩
	削減	⑧	⑨	⑩	⑪
		縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

